

## 再評価結果（平成26年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課  
担当課長名：茅野 牧夫

事業名 <small>ふかがわ るもい</small> 深川・留萌自動車道（一般国道233号） <small>ほろぬかるもい</small> 幌糠留萌道路	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 北海道開発局								
起終点 自：北海道留萌市大字留萌村字幌糠 <small>ほつかいどうるもい ほろぬか</small> 至：北海道留萌市堀川町 <small>ほつかいどうるもい ほりかわ</small>	延長 13.0 km									
事業概要 深川・留萌自動車道は、深川市を起点とし、秩父別町、沼田町、北竜町を經由して留萌市に至る延長約50kmの自動車専用道路である。 このうち幌糠留萌道路は、高速ネットワークの拡充による近隣都市間の連絡機能の強化を図り、地域間交流の活性化及び、重要港湾留萌港への物流効率化等の支援を目的とした、留萌幌糠インターチェンジから留萌インターチェンジに至る延長13.0kmの事業である。										
H8年度事業化	H一年度都市計画決定 （H一年度変更）	H12年度用地着手 H12年度工事着手								
全体事業費 約490億円   事業進捗率 64%   供用済延長 8.9km										
計画交通量 7,500～8,500台/日										
費用対効果 分析結果	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">                     B/C  <small>（事業全体）</small> </td> <td style="text-align: center;">                     1.3                 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"> <small>（残事業）</small> </td> <td style="text-align: center;">                     2.1                 </td> </tr> </table>	B/C <small>（事業全体）</small>	1.3	<small>（残事業）</small>	2.1	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">                     総費用  <small>（残事業）/（事業全体）</small> </td> <td style="text-align: center;">                     137/526億円                      （事業費：113/490億円）                      （維持管理費：24/36億円）                 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">                     総便益  <small>（残事業）/（事業全体）</small> </td> <td style="text-align: center;">                     284/659億円                      （走行時間短縮便益：227/536億円）                      （走行経費減少便益：41/91億円）                      （交通事故減少便益：16/33億円）                 </td> </tr> </table>	総費用 <small>（残事業）/（事業全体）</small>	137/526億円 （事業費：113/490億円） （維持管理費：24/36億円）	総便益 <small>（残事業）/（事業全体）</small>	284/659億円 （走行時間短縮便益：227/536億円） （走行経費減少便益：41/91億円） （交通事故減少便益：16/33億円）
B/C <small>（事業全体）</small>	1.3									
<small>（残事業）</small>	2.1									
総費用 <small>（残事業）/（事業全体）</small>	137/526億円 （事業費：113/490億円） （維持管理費：24/36億円）									
総便益 <small>（残事業）/（事業全体）</small>	284/659億円 （走行時間短縮便益：227/536億円） （走行経費減少便益：41/91億円） （交通事故減少便益：16/33億円）									
基 準 年 平成25年										
感度分析の結果 【事業全体】 交通量：B/C=1.1～1.4（交通量±10%） 事業費：B/C=1.2～1.3（事業費±10%） 事業期間：B/C=1.2～1.3（事業期間±20%） 【残事業】 交通量：B/C=1.8～2.3（交通量±10%） 事業費：B/C=1.9～2.3（事業費±10%） 事業期間：B/C=1.9～2.2（事業期間±20%）										
事業の効果等 事業の必要性及び効果										
①主要都市間の利便性向上 ・留萌市と旭川市間の所要時間が夏期で10分（冬期は10分）短縮され、地域住民の利便性向上や地域間交流の活性化が期待される。 ②重要港湾留萌港の利便性向上 ・並行国道の渋滞箇所や信号交差点を回避すること等で、留萌港から上川方面等に運ばれる貨物（石油製品約49万t/年、石炭約33万t/年）の利便性向上が期待される。 ③物流の利便性向上 <水産品の流通利便性向上> ・留萌市から新千歳空港までの所要時間が10分短縮され、留萌管内から道内外の消費地市場等へ運ばれる水産品（えび類1,199t/年、ほたて種苗209百万粒/年）の流通利便性向上が期待される。 <畜産品の流通利便性向上> ・留萌管内から安平町等へ運ばれる畜産品（肉用牛2,974頭/年、羊200頭/年）の流通利便性向上が期待される。 ④救急搬送の安定性向上 ・留萌市立病院から第三次救急医療機関のある旭川市までの搬送時間が10分短縮され、救急搬送の安定性向上が期待される。 ⑤主要な観光地への利便性向上 ・留萌管内と道央圏を結ぶ広域観光ネットワークの形成が図られ、主要な観光地への利便性向上が期待される。 ⑥バスの利便性向上 ・稚内市等から札幌市へ運行する都市間バス利用者の利便性向上が期待される。 ⑦CO <sub>2</sub> 排出量の削減 ・自動車からのCO <sub>2</sub> 排出量5,377（t-CO <sub>2</sub> /年）の削減が期待される。										

